

令和8年度 第1回 水戸市山根市民センター運営審議会

日 時 令和8年6月24日（水）

午前10時00分～

場 所 山根市民センター集会室

次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 会長・副会長選出

4 あいさつ

5 議 事

（1）令和7年度山根市民センター事業報告について

（2）令和7年度山根市民センター利用状況について

（3）令和8年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

（4）令和8年度山根市民センター事業計画について

（5）その他

6 閉 会

水戸市山根市民センター運営審議会委員名簿

任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日

役職	ふりがな	選出区分	団体等名及び役職名	備 考
	氏 名			
	いまがわ むねお ----- 今川 宗男	市民活動団体	山根自治連合会会長	
	きくち きよし ----- 菊池 清志	市民活動団体	山根自治連合会福祉厚生部長	
	おおうち くにあき ----- 大内 邦明	学校教育関係者	双葉台中学校長	
	おおつ ふみたか ----- 大津 文隆	市民活動団体	山根自治連合会生活環境部長	新委員
	いしじま てるみ ----- 石嶋 照美	市民活動団体	食生活改善推進員	新委員
	おおたか しょういち ----- 大高 正一	市民活動団体	やまね子どもクラブ代表	新委員

(1) 令和7年度山根市民センター事業報告について

①定期講座

ア 教室(初心者対象)

曜日	教室名	開催日	時間	人数	実施回数	講師名	開講日
火	やさしい太極拳	第2・4	13:30～ 15:30	9	24	富田 美恵子	5月13日
水	絵てがみ	第1・3	10:00～ 12:00	7	17	鯨 和子	5月21日
水	ピフィラティス	第2・4	10:00～ 11:00	11	19	國井 仁美	5月14日
木	セラピー体操	第1・3	20:00～ 21:00	6	14	吉村 美智代	5月15日
金	銭太鼓	第1	10:00～ 11:30	5	12	鈴木 幸枝	5月16日

イ クラブ(経験者・初心者可)

曜日	クラブ名	開催日	時間	人数	実施回数	講師名	開講日
月	ヨガA (月曜コース)	第1・3	10:00～ 12:00	15	22	井口 裕美	5月19日
金	ヨガB (金曜コース)	第2・4	10:00～ 12:00	18	21	井口 裕美	5月9日
土	パッチワーク	第1・3	9:30～ 11:30	11	20	田崎 加津子	5月17日

②教養講座

事業名	開催日	参加人数	備考
夏休み子ども絵画教室	8月1日(金)	7名	元小学校教師 別所 恵子 様
山根寿学級①	8月27日(水)	19名	「食事と栄養について」 日本調剤水戸中央薬局 高見翼 様
定期講座(学習発表)	9月14日(日)	65名	「銭太鼓」・「やさしい太極拳」 ※福寿のつどいアトラクションとして
女性教養講座①	10月16日(木)	13名	「秋の健康料理教室」 食生活改善推進員山根支部主催
女性教養講座②	12月2日(火)	7名	「花時計の壁飾り とペンダントづくり教室」 大久保なつみ 様・赤沼真理 様
家庭教育強化事業 (子育て広場同時開催)	12月3日(水)	9組	「クリスマスコンサート」 みとぴよ音楽隊
山根寿学級②	12月22日(月)	20名	「落語」 川崎 賢一 様
定期講座(作品展示)	2月9日(月)～ 2月22日(日)	204名	絵てがみ・パッチワーク

③ 移動学習

事業名	開催日	参加人数	行き先
移動学習	7月14日(月)	22名	関東リサイクル工場エフピコ(八千代町) ・道の駅「グランテラス筑西」

④三世代ふれあい事業

事業名	開催日	参加人数	備考
三世代ふれあい事業 奉仕作業①	6月7日(土)	27名	
三世代ふれあい事業 ミニ夏祭り	8月23日(土)	62名	
三世代ふれあい事業 奉仕作業②	10月18日(土)	21名	
三世代ふれあい事業 歩く会	11月9日(月)	23名	「みかも山公園(栃木県栃木市) ・道の駅どまんなか たぬま」
三世代ふれあい事業 グラウンドゴルフ大会	2月22日(日)	56名	

⑤山根自治連合会等

事業名	開催日	参加人数	備考
山根自治連合会役員会 他	4月11日(金) 他9回	延べ188名	役員会、各専門部会、各実行委員会
山根自治連合会総会	5月10日(土)	57名	総会出席者 38名 委任状提出者 19名
花苗配布	5月20日(火)	5団体	ペゴニア・ジニア
花苗配布	6月17日(火)	5団体	アゲラタム・マリーゴールド
地域学校協働活動 「あいさつ運動」	7月7日(月) 他7回	延べ12名	
西部ブロック春季球技大会 (ソフトボール)	6月22日(日)	5チーム	
親と子の料理教室	7月31日(木)	12名	食生活改善推進員山根支部主催 (ポップオーバー・ミートボール他)
サマーナイトマルシェ ※共催事業	8月9日(土)	-	ヤマネ&リリースクエア
三世代ふれあい事業 ミニ夏祭り	8月23日(土)	62名	
花火大会	8月23日(土)	約200名	
福寿のつどい	9月14日(日)	65名	
市民運動会	10月12日(日)	約200名	
ゴルフ大会	10月24日(金)	13名	水戸・ゴルフ・クラブ
西部ブロック秋季球技大会 (ソフトボール)	11月3日(月)	中止	
三世代ふれあい事業 歩く会	11月9日(日)	23名	「みかも山公園(栃木県栃木市) ・道の駅どまんなか たぬま」
地域学校協働活動 「清潔なまちづくり運動」	11月17日(月)	3名	
福寿そば出前サービス	12月5日(金)	71名	対象者～75歳以上寝たきりと一人暮らし・85歳以上
避難所設営訓練 ・コンボライフ設営訓練	12月5日(金)	20名	避難所指定動員職員 3名参加
ウィンターマルシェ ※共催事業	1月18日(日)	-	ヤマネ&リリースクエア ※水戸市少年自然の家共催参加
地域学校協働活動 「むかしあそび体験」	1月27日(火)	3名	双葉台小学校第1学年児童
三世代ふれあい事業 グラウンドゴルフ大会	2月22日(日)	56名	
花苗配布	3月6日(金)	5団体	パンジー

(2) 令和7年度山根市民センター利用状況報告について

① 施設利用状況

ア 団体別

	市民センター		社会教育団体		市・県関係		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
7年度	160	1,679	20	423	25	464	318	2,279	523	4,845
6年度	169	1,950	19	320	24	435	405	3,541	617	6,246
5年度	145	1,586	21	384	28	454	442	4,061	636	6,485
4年度	150	1,521	35	429	28	524	491	4,392	704	6,866
3年度	144	1,336	23	257	22	532	424	3,987	613	6,112

イ 部屋別

	ホール		集会室		和室		調理室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
7年度	372	3,600	95	961	52	229	4	55	523	4,845
6年度	459	4,763	106	1,185	47	245	5	53	617	6,246
5年度	487	5,103	102	987	37	221	1	19	627	6,330
4年度	536	5,335	125	1,248	43	283	0	0	704	6,866
3年度	454	4,825	104	954	55	333	0	0	613	6,112

令和8年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、水戸市住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化改修を始めとした適切な施設の整備及び維持・管理に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

さらに、市民センター施設予約管理システムの円滑な運用に向け、利用団体や市民への周知・案内等の支援を行い、利便性の向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであ

ることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

(4) 地域における子育て支援

未来をリードする子どもたちを温かく見守りながら、まち全体で育むため、市民センターにおいて「子育て広場」及び「こどもスペース」を設置し、地域における子育て支援に努める。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、こどもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業についての自己評価及び運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担うこどもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、こどもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担うこどもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

こどもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(4) 令和8年度山根市民センター事業計画について

①定期講座

ア 教室(初心者対象)

曜日	教室名	開催日	時間	定員	継続	新規	講師名	開講日
火	やさしい太極拳	第2・4	13:30～ 15:30	12	6	5	富田 美恵子	5月12日
水	絵てがみ	第1・3	10:00～ 12:00	12	7	2	鯨 和子	5月20日
木	セラピー体操	第1・3	20:00～ 21:00	15	6	0	吉村 美智代	5月21日
金	銭太鼓	第1	10:00～ 11:30	10	5	0	鈴木 幸枝	5月1日

イ クラブ(経験者・初心者可)

曜日	クラブ名	開催日	時間	定員	継続	新規	講師名	開講日
月	ヨガA (月曜コース)	第1・3	10:00～ 12:00	18	14	1	井口 裕美	5月18日
金	ヨガB (金曜コース)	第2・4	10:00～ 12:00	19	18	1	井口 裕美	5月8日
土	パッチワーク	第1・3	9:30～ 11:30	12	11	1	田崎 加津子	5月16日

②教養講座

事業名	開催日	備考
夏休みこども絵画教室	7月30日(木)	元小学校教師 別所 恵子 様
山根寿学級①	8月7日(金)	「名字の謎を解く！名字の歴史と由来」 苗字研究家 高信 幸男 様
定期講座（学習発表）	9月20日(日)	「銭太鼓」・「やさしい太極拳」 ※福寿のつどいアトラクションとして
女性教養講座①	未定	「秋の健康料理教室」 食生活改善推進員山根支部
家庭教育強化事業 （子育て広場同時開催）	12月2日(水)	「クリスマスコンサート」 みとびよ音楽隊
山根寿学級②	12月14日(月)	「落語」 川崎 賢一 様
女性教養講座②	2月2日(火)	「リトミック体操」 海野 真奈美 様
定期講座（作品展示）	2月8日(月)～ 2月21日(日)	絵てがみ・パッチワーク
西部ブロック家庭教育強化事業	2月9日(火)	読み聞かせ ボランティア団体 話音絵

③移動学習

事業名	開催日	行き先
移動学習	7月13日(月)	グリコマニファクチャリングジャパン株式会 社茨城工場・茨城県植物園/林音

④三世代ふれあい事業

事業名	開催日	備考
三世代ふれあい事業 奉仕作業①	6月6日(土)	
三世代ふれあい事業 ミニ夏祭り	8月22日(土)	
三世代ふれあい事業 奉仕作業②	10月17日(土)	
三世代ふれあい事業 歩く会	11月8日(日)	
三世代ふれあい事業 グラウンドゴルフ大会	2月21日(日)	

⑤山根自治連合会等

事業名	開催日	備考
山根自治連合会役員会 他	4月10日(金) 他9回	役員会、各専門部会、各実行委員会
山根自治連合会総会	5月9日(土)	総会出席者 32名 委任状提出者 15名
花苗配布	5月19日(火)	ベゴニア・ジニア
西部ブロック春季球技大会 (ソフトボール)	5月31日(日)	6チーム参加
花苗配布	6月16日(火)	アゲラタム・マリーゴールド
親と子の料理教室	7月16日(木)	食生活改善推進員山根支部主催 (シウマイと卵のバインミー、バナナのチェー)
サマーナイトマルシェ ※共催事業	8月1日(土)	ヤマネ&リリースクエア
三世代ふれあい事業 ミニ夏祭り	8月22日(土)	
花火大会	8月22日(土)	
福寿のつどい	9月20日(日)	
市民運動会	10月11日(日)	
西部ブロック秋季球技大会 (ソフトボール)	10月18日(日)	
ゴルフ大会	10月23日(金)	水戸・ゴルフ・クラブ
三世代ふれあい事業 歩く会	11月8日(日)	
地域学校協働活動 「あいさつ運動」	7月7日(火) 他7回	
地域学校協働活動 「清潔なまちづくり運動」	未 定	
地域学校協働活動 「むかしあそび体験」	未 定	双葉台小学校第1学年児童
福寿そば出前サービス	12月4日(金)	対象者～75歳以上寝たきりと一人暮らし 85歳以上
避難所設営訓練 ・コンボライフ設営訓練	12月4日(金)	
ウィンターマルシェ ※共催事業	1月17日(日)	ヤマネ&リリースクエア
三世代ふれあい事業 グラウンドゴルフ大会	2月21日(日)	
花苗配布	未定	パンジー

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、市民センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市民と行政との協働により、地域におけるコミュニティ活動及び生涯学習活動を推進するため、市民センターを別表のとおり設置する。

(事業)

第3条 前条に規定する市民センター（以下「センター」という。）は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 地域コミュニティ活動の支援に関すること。
- (2) 生涯学習活動の推進に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、設置目的の達成に必要な事業に関すること。

(使用の許可)

第4条 センターを使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、また、同様とする。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、前項の規定による許可に条件を付することができる。

(使用の不許可)

第5条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、センターの使用を許可しないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設又は設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的として施設を使用するおそれがあるとき。
- (4) 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙について特定の候補者を支持するおそれがあるとき。
- (5) 特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援するおそれがあるとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上支障があるとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 第4条第1項の規定により使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、許可を受けた目的以外にセンターを使用し、又はその使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(使用の許可の取消し等)

第7条 市長は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、許可を取り消し、又は使用を中止させ、若しくは制限することができる。この場合において、使用者に損害が生ずることがあっても、市長は、その責めを負わない。

- (1) 第5条各号のいずれかに該当するとき。
- (2) 許可の条件に違反したとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(原状回復等)

第8条 使用者は、その使用を終わったとき、又は前条の規定により使用することができなくなったときは、自己の費用をもって直ちに整備し、原状に復さなければならない。

- 2 使用者が前項の規定による義務を履行しないときは、市長において自らこれを執行し、その費用を使用者から徴収する。

(損害賠償等)

第9条 故意又は過失により施設、設備等を損傷し、又は滅失した者は、これを原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(市民センター運営審議会)

第10条 センターの運営等に関する事項について、市長又は水戸市教育委員会の諮問に応じて審議するため、センターごとに市民センター運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(組織等)

第11条 審議会は、市民活動団体の役職員、学校教育、社会教育及び家庭教育の関係者並びに学識経験者のうちから、市長が委嘱する6人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 審議会に、委員の互選により会長及び副会長を置く。
- 4 会長は、審議会の会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 審議会は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

- 2 審議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第13条 審議会の庶務は、市民協働部において行う。

(平27条例9・一部改正)

(委任)

第14条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第10条から第13条までの規定は平成21年12月1日から、次項の規定は公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例の施行の日以後のセンターの使用の許可は、同日前においても、第4条の規定の例により行うことができる。

付 則 (平成22年3月24日条例第13号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例の施行の日以後の水戸市五軒市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

付 則 (平成23年3月25日条例第9号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

付 則 (平成23年7月12日条例第25号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成23年9月1日から施行する。ただし、次項の規定は、同年8月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例の施行の日以後の水戸市常磐市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

付 則 (平成26年6月30日条例第36号)

(施行期日)

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から施行する。

(1) 次項の規定 公布の日

(2) 別表水戸市見和市民センターの項の改正規定 平成26年7月1日

(3) 別表水戸市上大野市民センターの項の改正規定 平成26年10月1日

(準備行為)

- 2 前項第2号に定める日以後の水戸市見和市民センターの使用及び同項第3号に定める日以後の水戸市上大野市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、これらの日以前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

付 則 (平成27年3月24日条例第9号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

付 則（平成28年6月30日条例第34号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成28年11月1日から施行する。ただし、次項の規定は、同年10月1日から施行する。

（準備行為）

- 2 この条例の施行の日以後の水戸市稲荷第一市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

付 則（平成30年6月22日条例第32号）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

（平成30年規則第28号で平成30年10月1日から施行。ただし、同条例付則第2項の規定は平成30年9月1日から施行）

（準備行為）

- 2 この条例の施行の日以後の水戸市鯉淵市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

付 則（平成30年12月20日条例第60号）

（施行期日）

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

（1）次項の規定 平成31年2月1日

（2）別表に2項を加える改正規定（水戸市妻里市民センターの項に係る部分に限る。）及び付則第3項の規定 平成31年3月1日

（3）前2号に掲げる規定以外の規定 平成31年4月1日

（準備行為）

- 2 前項第2号に定める日以後の水戸市妻里市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例（以下「新条例」という。）の例により行うことができる。

- 3 付則第1項第3号に定める日以後の水戸市内原市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、新条例の例により行うことができる。

付 則（令和3年12月24日条例第62号）

（施行期日）

- 1 この条例は、令和4年3月7日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（準備行為）

2 この条例の施行の日以後の水戸市千波市民センターの使用に係る使用の許可その他必要な行為は、同日前においても、この条例による改正後の水戸市市民センター条例の例により行うことができる。

別表（第2条関係）

（平22条例13・平23条例9・平23条例25・平26条例36・平28条例34・平30条例32・平30条例60・令3条例62・一部改正）

名称	位置
水戸市三の丸市民センター	水戸市三の丸1丁目6番60号
水戸市五軒市民センター	水戸市五軒町1丁目2番12号
水戸市新荘市民センター	水戸市新荘2丁目11番2号
水戸市城東市民センター	水戸市城東3丁目1番47号
水戸市竹隈市民センター	水戸市柳町2丁目5番8号
水戸市常磐市民センター	水戸市西原1丁目3番12号
水戸市緑岡市民センター	水戸市見川町2563番地
水戸市寿市民センター	水戸市平須町1636番地
水戸市上大野市民センター	水戸市吉沼町1768番地の2
水戸市柳河市民センター	水戸市柳河町673番地の1
水戸市渡里市民センター	水戸市堀町466番地の7
水戸市吉田市民センター	水戸市元吉田町1736番地の5
水戸市酒門市民センター	水戸市酒門町1374番地の6
水戸市石川市民センター	水戸市石川2丁目4243番地
水戸市飯富市民センター	水戸市飯富町4449番地の8
水戸市国田市民センター	水戸市下国井町1212番地の4
水戸市桜川市民センター	水戸市河和田町2894番地の4
水戸市上中妻市民センター	水戸市大塚町1157番地の1
水戸市山根市民センター	水戸市全隈町78番地の1
水戸市見川市民センター	水戸市見川2丁目179番地の1
水戸市千波市民センター	水戸市千波町114番地の6
水戸市見和市民センター	水戸市見和2丁目224番地の1
水戸市双葉台市民センター	水戸市双葉台2丁目1番地の5
水戸市笠原市民センター	水戸市笠原町358番地の5
水戸市赤塚市民センター	水戸市河和田3丁目2329番地の3
水戸市吉沢市民センター	水戸市吉沢町243番地の3
水戸市堀原市民センター	水戸市新原1丁目9番16号

水戸市下大野市民センター	水戸市下大野町6094番地の1
水戸市稲荷第一市民センター	水戸市大串町2134番地
水戸市稲荷第二市民センター	水戸市栗崎町1695番地の4
水戸市大場市民センター	水戸市大場町2283番地の1
水戸市鯉淵市民センター	水戸市鯉淵町2989番地の2
水戸市妻里市民センター	水戸市有賀町2242番地
水戸市内原市民センター	水戸市内原町1395番地の6

市民センター利用における有料化について

1 現状と課題

市民センターは、地域コミュニティ活動や生涯学習活動などの拠点として、多くの団体に利用いただいております。

市民センターの運営に関わる経費につきましては、市費で負担していますが、物価高騰等の影響に伴い、施設の維持・管理に係る費用が増大している状況であります。持続可能な運営を図るためには、利用者からの一部負担も含めた検討が必要と考えております。

また、市民センターの利用に当たりましては、居住地に関係なく、無料で利用できることとなっていることから、市民の皆様が、希望する日にちや施設を利用できないことなども課題となっております。

2 有料化の概要

市民センターの持続可能な運用を図るとともに、市民の皆様にとって利用しやすい環境を整備するため、以下のとおり、一部の利用団体について有料化を検討しております。

項目	内容
対象	・団体構成員のうち、水戸市に居住する方の割合が「7割未満」の団体 ※水戸市に居住する方が「7割以上」の団体は、引き続き、無料で利用いただけます。 ※市主催の定期講座（教室・クラブ）及び教養講座は、居住者の割合に関わらず対象外。
開始時期	・令和9年4月利用分から
使用料	・「部屋の種類」や「時間帯」に応じて設定します。
支払方法	・利用予約の際に、クレジットカード決済での事前払いを基本とします。 ※クレジットカード決済ができない団体については、コンビニでの支払いでも可。
備考	・申請の際に、意図的に居住地を偽るなどの行為があった場合は、利用停止や罰則を科す場合があります。

3 スケジュール

時期	内容
令和8年 9月	・条例改正
〃 10月～	・利用団体や市民等へ周知
令和9年 1月	・団体登録や更新の申請受付開始 ・市民センターでの承認作業開始（使用料の対象となる団体を判断）
〃 2月	・令和9年4月利用分の抽選申込み開始
〃 3月	・令和9年4月利用分の抽選結果発表、予約受付・使用料の支払い開始